

## 地球環境と産業化研究会（SGEIS）

### SGEIS 基礎講座シリーズ

テーマ：竹資源の有効利用への道

内容：放置竹林は、高齢化や需要減少により管理されなくなった竹林が拡大し、周囲の森林、生態系、農地、土砂災害リスクへ悪影響を及ぼす社会課題（竹害）となっています。一方、竹は木材やプラスチックなどに代わる持続可能な資源として、近年注目されています。今回は、竹林の現況と竹資源の新用途開発、そのための竹林管理方法について学び、次いで、神戸地域で活動する若者からの取組事例の紹介と意見交換を通じて、竹資源の有効利用への道を、参加者の皆さまと考えたいと思います。

【講義】竹資源の新たな有効利用を考える

神戸学院大学現代社会学部准教授 菊川裕幸 氏

【講義】天然の竹 100%を原料とした土壌改良材で安心・安全な土づくり

土づくり研究所代表（有限会社宝角コーポレーション）寶角勝利 氏

【発表】若者の取組事例

『放置竹林問題に取り組む Bamboo に Thank you プロジェクト』

甲南大学 田中昌幸、藤田凌伍

『地域の厄介者を宝に変える 竹資源利活用プロジェクト』

神戸学院大学 山中悠生、藤本快生、大島颯斗

日時：2026年8月18日(火)13時30分～16時30分

場所：中央区文化センター(神戸市中央区東町115番地)11階 会議室 1103

<https://www.kobe-bunka.jp/facilities/chuo/>

対象：参加資格不問(高校生、大学生の参加を歓迎します)

定員：20名程度(先着順、申込人数が定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

SGEISの活動への支援をお願いしております。ご協力いただける場合は、参加申込時にご確認ください。

主催：地球環境と産業化研究会(Society for Global Environment & Industrialization Studies)

※兵庫県神戸県民センター助成事業

### お申し込み方法(締切:2026年8月11日)

下記のサイトからお申込みください。SGEIS事務局より受付確認メールが送信されます。

<https://forms.gle/RMmM8G7HYo4q2zuc8> (右のQRコードが利用できます)

この申込サイトが利用できない場合、氏名(ふりがな)・所属・住所・電話番号を明記のうえ、[info.sgeis@gmail.com](mailto:info.sgeis@gmail.com) までお申し込みください。



## 講座の流れ

当日のタイムテーブル	
13:30～13:35	主催者挨拶・進行について
13:35～14:20（講義・質疑応答 45 分）	講義 ①
14:20～14:50（講義・質疑応答 30 分）	講義 ②
15:00～16:00（各発表・意見交換 30 分）×2	発表 ①～②
16:00～16:30	全体を通しての意見交換
16:30	事務局連絡・終了

## 講師の略歴

きくかわひろゆき

**菊川裕幸** 氏 — 神戸学院大学現代社会学部准教授

1989 年、兵庫県生まれ。兵庫県園芸療法士、日本園芸療法学会認定上級園芸療法士。京都大学大学院農学研究科森林科学専攻博士後期課程修了。2011 年岡山大学農学部卒業後、兵庫県内の農業高校にて教鞭をとる傍ら、兵庫県立淡路景観園芸学校園芸療法課程にて学ぶ。修了後は、農業高校生とともに地域で園芸療法活動や放置竹林の竹資源の利活用を行う。2022 年、神戸学院大学現代社会学部に着任し、農村地域の地域デザインに関する活動を行う。現在は農福連携やユニバーサル農業、竹チップの農業利用法の確立について研究を行っている。

ほずみかつとし

**寶角勝利** 氏 — 土づくり研究所代表（有限会社宝角コーポレーション）

1929 年創業の歴史を持つ株式会社宝角合金製作所の 3 代目代表取締役です。伝統的な鑄造・加工技術を受け継ぎながら、IT 化（DX）や環境ビジネスなどの新領域を積極的に開拓し、放置竹林問題の解決を目指した竹粉碎機「バンブーミル」の開発・販売を主導。この竹粉碎機は「兵庫県発明賞」を受賞し、国内特許、国際特許を取得しています。この事業は「ひょうごグリエイティブビジネスグランプリ」入賞や「姫路市成長分野ビジネスプラン事業化推進事業」最優秀賞を受賞しています。関連会社の有限会社宝角コーポレーションが運営する web サイト「土づくり研究所」を通じて竹の有効利用を広めています。

**甲南大学・Bamboo に Thank you プロジェクト** キャリア創生共通科目「地域プロジェクト」の 1 つ、「SDGs の実践プロジェクト～放置竹林問題を考える～」(久保はるか教授)の参加学生が、放置竹林問題の解決に取り組み、竹の定期的な伐採、竹の利活用先を増やす、問題の認知拡大を行っています。

**神戸学院大学・竹資源利活用プロジェクト** 現代社会学科 菊川裕幸准教授のゼミでは、地域課題である放置竹林を解決し、竹を地域資源として循環活用する活動に、学生が継続的に取り組み、兵庫県内各地で竹林整備活動を行いながら、整備で発生する竹材の有効利用を模索しています。